

Jr ウインド大会・ジュニア選手権大会ガードレスキュー活動

2013年8月24～25日



今年のJr大会はマリナーパーク内でのみ行われました。



大会ガード&レスキュースタッフは野口、小野田、奥柿、松井、鎌田、増永がメインとなり行われました。



初日、西風のオフショア強風が吹き荒れる中での大会となり、レスキュー艇はシーバード号を筆頭に3台フル稼働でした。選手のほぼ全員を引っ張るという事態に大忙しでした。



御前崎市所有のヤマハ



野口個人所有のカワサキ



シーバード号





大会ではレスキューだけでなくマークブイの打ち直し回収作業なども行います。
これも強風の中だとハードなんですよ！



大会2日目は風が弱い時間帯に急遽SUPのレースも行われました。その際はPWCだけでなくレスキュー用SUPにてガードに入りました。

今回の大会は、水上バイクがあることで成り立つ、ハードなレスキューが必要な大会となりました。テトラポットという人工物がありますが、水上バイクならば、すぐ側に付けられることができます。そこは大きな利点であるということを見ている人にも伝わったのではないのでしょうか！！

下記のコメントも頂け頑張った甲斐がありました。

「子供も安心して心おきなくレースに参加できたと思います。本当にありがとうございました。また機会がありましたら、運営スタッフの皆さま方にもお伝えください。「レスキューも迅速だったので、安心してオフショア、ガスガス、ババ吹きの子供を送り出すことができました。子供も十分レースを楽しめたようです。ありがとうございました。今後も子供がレースに興味をもつようならまた参加させてください。」

このお言葉を励みにして今後も活動したいと思います。
参加者、関係者、スタッフの皆様大変お疲れ様でした。